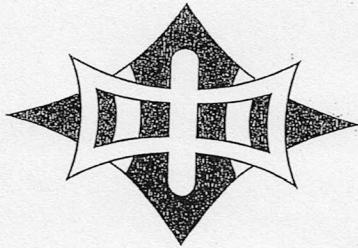


# 学校だより 希望の鐘

ひとつの鐘はいのちしかひらかない



八戸市立  
小中野中学校  
平成30年9月10日(月)  
No.128 文責: 校長  
工藤聰

## 1学期の「生徒アンケート」「保護者アンケート」結果と考察

1学期末に続き、生徒と保護者の皆様にアンケートを実施いたしました。今日は、その結果をお知らせいたします。

アンケートは、質問に対して「Aあてはまる（よい）」「Bやあてはまる（ややよい）」「Cあまりあてはまらない（やや悪い）」「Dあてはまらない（悪い）」の4つから選ぶ形式をとりました。数字（小数点以下四捨五入）は、「Aあてはまる（よい）」と「Bやあてはまる（ややよい）」の人数を合計したものの、全体から見た割合（%）となっています。（△は昨年よりプラス、▼はマイナス）

### 【生徒】

No.	評価項目	令	昨	△ ▼
1	コナノートを活用して予習・復習に取り組んでいる。	90	88	△ 2
2	毎時間の授業の流れがわかり、内容も理解できている。	82	79	△ 3
3	授業でペア学習やグループ学習を行うと、授業内容がよくわかる。	88	86	△ 2
4	授業では姿勢を正し、板書等をしっかりノートにまとめている。	93	88	△ 5
5	自分の将来の夢や希望する進路について親子で話し合っている。	73	74	▼ 1
6	朝読書の時間以外にも家で進んで読書している。	61	46	△15
7	進んで大きな声であいさつや返事をしている。	89	78	△11
8	毎朝、朝食をとっている。	94	92	△ 2
9	給食の準備や後始末を進んで行っている。	94	92	△ 2
10	清掃にしっかりと取り組んでいる	94	93	△ 1
11	早寝・早起きを心がけて生活している。	86	75	△11
12	テレビやゲーム、スマホ(SNS)は時間を決めて遊んでいる。	77	65	△12
13	学習や悩みごとなど先生に気軽に相談できる。	74	64	△10
14	学級は居心地がよいと思う。	88	84	△ 4
15	行事の成功に向けて積極的に活動しているので、学校行事は楽しい。	93	90	△ 3
16	学級通信などの「たより」を家の人に渡している。	93	88	△ 5
17	参観日や諸連絡などの「お知らせ」を家の人に渡している。	97	89	△ 8
18	学校での出来事を家の人に話している。	82	79	△ 3
19	先生はがんばったことを認めてくれる。	88	85	△ 3
20	自分のことは好きである。	64	59	△ 5
21	自分は家族や友人から認められたり、必要とされていると思う。	73	73	0

### 【保護者】

No.	評価項目	令	昨	△ ▼
1	子どもはコナノートを使って予習・復習に取り組んでいる。	81	79	△ 2
2	学校(先生)は、子どもにわかる授業を行っていると思う。	88	86	△ 2
3	子どもは授業準備(忘れ物をしない)や提出物をしっかりやっている。	77	78	▼ 1
4	子どもの将来の夢や希望する進路について親子で話し合っている。	76	82	▼ 6
5	子どもの様子を見て、家庭でも読書の習慣が身についていると思う。	29	38	▼ 8
6	進んであいさつや返事をするよう子どもと話している。	85	84	△ 1
7	子どもが遅れるからいらないというような時でも毎朝朝食をとらせている。	92	91	△ 1
8	家庭では食事の準備や後始末など家の手伝いをさせている。	65	65	0
9	子どもの規則正しい生活習慣(早寝・早起き等)づくりに努めている。	72	75	▼ 3
10	テレビ、ゲーム、SNSは時間を決めて長々と遊ばないようにさせている。	63	65	▼ 2
11	学校(先生)は、生徒の悩みやじめ解消に向けて努力していると思う。	88	90	▼ 2
12	子どもは楽しく学校生活を送っていると思う。	92	91	△ 1
13	学校からのお知らせ、学校(学年・学級)だより等のプリントは読んでいる。	90	88	△ 2
14	安全情報配信システムや学校HPを見て、学校の情報を得ている。	94	86	△ 8
15	学校での出来事を子どもと話し合っている。	83	84	▼ 1
16	授業参観や保護者集会、懇談会には参加するようにしている。	68	72	▼ 4
17	学校(先生)は子どもががんばったことを認めてくれていると思う。	90	91	▼ 1
18	子どもは自分のことを好きである(肯定的にとらえている)と思う。	91	86	△ 5
19	子どもは友人、先生から認められたり必要とされていると感じていると思う。	88	90	▼ 2

○1つの学年が入れ替わっていますので、単純には比較できませんが、前回(昨年12月)より「生徒アンケート」では21項目中19項目で上がっています。1項目ごとの平均値も5ポイント上昇しました。

○「保護者アンケート」では、「生徒アンケート」とは逆に19項目中10項目で下がり、1項目平均では0.5ポイントの下落でした。世の常ではありますが、生徒は比較的甘く、保護者の方は厳しく評価いただいたことによるのではないかと考えています。

○「生徒アンケート」で特に大きく上昇したのは「6 朝読書の時間以外にも家で進んで読書している→15ポイント」「7 進んで大きな声であいさつや返事をしている→11ポイント」「11 早寝・早起きを心がけて生活している→11ポイント」「12 テレビやゲーム、スマホ(SNS)は時間を決めて遊んでいる→12ポイント」「13 学習や悩みごとなど先生に気軽に相談できる→10ポイント」の5項目です。「読書」についての評価を押し上げたのは1年生で、プラス評価をした生徒はなんと80%でした。

(⇒裏へ続きます。)

(⇒表からの続きです。)

中学校では、小学校でのいい習慣が学年が上がるにつれて下がるということが往々にしてあるのですが、そうならないよう今後も丁寧に読書指導をしていきたいと思います。5項目の中で、私が一番うれしかったのは「悩みごとなどを先生に気軽に相談できる」という項目です。そういったことはある程度の信頼関係がなければできないことですから、「そうではない」と答えた26%（約4分の1）の生徒も、気軽に相談できるよう信頼関係を深めていかなければと思います。

○「保護者アンケート」で下落幅が大きかったのは、「4 子どもの将来の夢や希望する進路について親子で話し合っている→6ポイント」「5 子どもの様子を見て、家庭でも読書の習慣が身についている→8ポイント」でした。項目4については、12月のアンケートにおいては、どうしても3年生の進路決定の時期とかさなりますので高くなる傾向にあり、今年度の12月も上昇すると考えられますが、できるのであれば、いろいろなことを常に親子で話し合っていただければと思います。特に、学校では健康診断を実施し、その結果を生徒に「受診カード」という形で配付しております。小中野中は受診率が低い傾向にありますが、子どもの将来の健康を担保するのは、親や大人の義務であると私は考えておりますので、こういったことについても親子で話題にするようにしていただければいいなあと願っております。

○「生徒アンケート」と「保護者アンケート」で、結果が著しく異なったのは、「早寝・早起き→生徒プラス11ポイント・保護者マイナス3ポイント」「ゲームやSNS等の時間→生徒プラス12ポイント・保護者マイナス2ポイント」の2項目です。生徒自身は十分だと思っていても、保護者の方々から見れば、まだまだだと思っていることがわかります。保護者の方の『一喝』でもいいかもしませんが、それでは長続きしにくいと思いますので、こういうことについても、親子で話し合ってルールや習慣として決めたりすることも必要かもしれません。

○「生徒アンケート」の「9 給食の準備や後始末を進んで行っている→94%」に対し、「保護者アンケート」の「8 家庭では食事の準備や後始末など家事の手伝いをさせている→65%」と、似たような質問に対しても、全然違う回答となりました。「しているか」と「させているか」ですから、ニュアンスは全く違うのですが、それでも気になるところです。大人でも、家庭の外ではしっかりありますが、家庭の中では比較的リラックスすることで、若干だらしなくなることもあります。よく保護者の方からは「うちの子ども、学校でちゃんとやっていますか？家では本当にだらしないんですよ」と聞かれるのですが、学校も生徒にとっては“外の社会”ですから、それを心得てしっかりやっているということでしょうか。学校でしっかりやって家でもそうであれば、生徒にとって気の休まる場所がないわけですから、その辺は大目に見たらどうでしょう？

○今年度の小中野中の学校目標は、「他との関わりの中で、自己肯定感がもてる生徒の育成を図ること」です。『自己肯定感』とは「自己の身体的な特徴や能力、性格などについて肯定的に考えたり、感じたりする感情」です。簡単に言えば、自分自身のことを「好き」という気持ちです。今回の「生徒アンケート」では項目の20です。昨年度12月のアンケートでは59%と6割弱の生徒しか感じていませんでした。これには、私も大変なショックを受けました。原因を分析すると、学力の面もありますが、何と言っても集団との関わり方がスムーズでないために、自らの価値観が見いだせないことによるものだと感じたのです。そのために、本校の教職員には「認める」「ほめる」「励ます」という肯定的評価を生徒目線で意図的・積極的に行うことをお願いしております。これが「20 自分のことが好きである→プラス5ポイント」につながったのであれば、非常に喜ばしいことです。

○自由記述は、全部で9名の方からありました。簡単に紹介すると「学習のこと」「宿題の多さについて」「保護者アンケート自体のご意見」「学校で使用する物の購入については、確実に文書で連絡すること」「部活動のあり方や役割決定についてのご意見」等でした。せっかくのご要望やご意見ですので、必ず学校運営にいかしていきたいと思います。その中で「通学リュックが重すぎます。子どもたちの身体にかかる負担が大きいと思います。全国的にも問題となっている今、小中野中でも改善していただけないでしょうか」というものがありました。先週の全国紙にも、文科省が学校での工夫を期待する…とした記事が掲載されていました。1年生の保護者の方からのものでしたので、まずは1年生で次のようにしました。音楽・美術・保育・技家に関する用具は、特別の指示がない限りは学校に置いてもよいこととしていますが、さらに「国語・社会・数学・理科・英語のワーク類と理科の教科書も、勉強したい時や宿題のあった時を除いて学校に置いていく」ということです。軽くなる分はほんの少しで、抜本的なものではありませんが、これを契機にさらに検討をしていきたいと思います。

○自由記述の一つに、「校長先生が生徒一人ひとりのことを見てくださって、常に前向きに接していただいていることに感謝しております」というのがありました。私の方こそ、そのように見ていただいておりますことに、心から感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。本校の教職員も、生徒への対応は同様だと私は思っています。よりいっそう、細かく丁寧に見ていきます。

●何かとご多用の中、アンケートにご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。